



WORLD
HOLDINGS

2021年12月期 決算説明資料

第3四半期

“人が生きるカタチ”の創造

2021年11月10日（水）

株式会社ワールドホールディングス
東証1部(2429)

I. 2021年12月期 第3四半期決算概要

- ・ 決算サマリー … P4
- ・ 業績概況 … P5
- ・ セグメント別業績概況 … P6
- ・ 各セグメント詳細 … P7
- ・ 財政状態 B/S … P16

II. 2021年12月期 業績見通し

- ・ 2021年12月期 通期業績見通し … P18
- ・ 2021年12月期 セグメント別業績見通し … P19
- ・ 株主還元 … P20

III. Appendix

- ・ ワールドホールディングス会社案内 … P21



I . 2021年12月期 第3四半期決算概要

決算サマリー

全体サマリー



- **【増収増益】** 基幹の人材・教育ビジネスが好調に推移し、グループ全体を牽引
- **【上方修正】** 計画に対しても特に利益面で大幅に上回り、足下も順調なことから、通期業績予想を上方修正

各事業サマリー

人材・教育 ビジネス



- 主力のファクトリー事業を中心に好調に推移し、**大幅に増収増益**
【好調な要因】

- ✓ 幅広い領域を持つ強みを活かし“シームレス”な領域間の連携による取引幅の拡大
- ✓ 5Gや物流等の注力分野の見定め・戦略的な資本投下が奏功
- ✓ コロナ禍でも「雇用の維持」を最優先にしたことで機動的な対応が可能となった
- ✓ 的確な営業戦略により一部でコロナの特需的要素を取り込んだ

不動産 ビジネス



- 未だ不動産のバブル的状况が続く中、引き続き慎重な事業展開
- 緻密なマーケティングと、一部物件の前倒しで利益面が計画以上に推移

情報通信 ビジネス



- 携帯電話販売業界が、コロナ禍の影響に加え、総務省からの携帯電話料金値下げ要請に応じた各通信事業者の新プラン導入等により再び大きな変革期

その他



- 再度の緊急事態宣言等の影響で来園者数が伸び悩んだことに加え、旗艦施設である大阪府のハーベストの丘が臨時休園を余儀なくされ大きな打撃

業績概況

- 人材・教育ビジネスが大きく牽引したことで、**計画比・前年同期比とも上振れ**
- 特に**利益面での大幅な上振れ**は、人材・教育ビジネスの好調に加え、不動産ビジネスでの緻密なマーケティングによる高収物件の引渡しと一部物件の前倒し等が影響
- 前年の四半期純利益には、子会社の売却に伴う税効果の影響を含む

(単位: 百万円)

	2020/3Q 実績	2021/3Q 計画	2021/3Q 実績	計画比		前年同期比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	98,682	98,549	101,533	2,984	3.0%	2,851	2.9%
営業利益	3,283	2,702	4,115	1,412	52.3%	831	25.3%
経常利益	3,608	2,654	4,362	1,707	64.3%	753	20.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,010	1,864	3,150	1,285	68.9%	139	4.6%

セグメント別業績概況

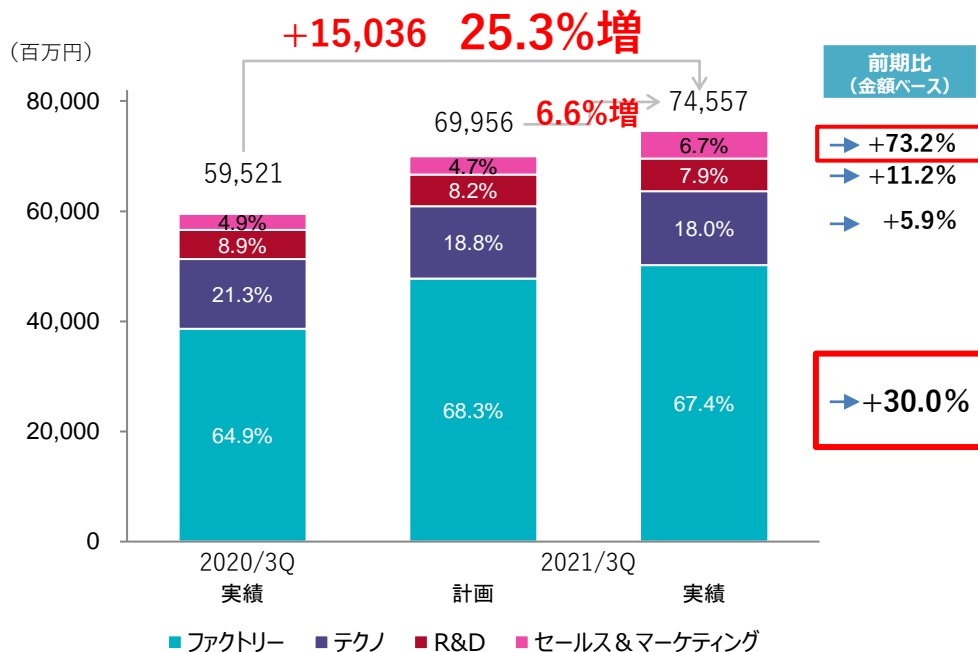
			2020/3Q 実績	2021/3Q 計画	2021/3Q 実績	計画比		前年同期比	
(単位：百万円)						増減額	増減率	増減額	増減率
人材・教育ビジネス	ファクトリー事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	38,651 1,676 (4.3%)	47,770 2,220 (4.6%)	50,228 2,354 (4.7%)	2,457 133 5.1%	5.1% 6.0%	11,576 677	29.9% 40.4%
	テクノ事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	12,650 1,387 (11.0%)	13,144 1,215 (9.2%)	13,393 1,615 (12.1%)	249 400 1.9%	1.9% 32.9%	743 227	5.9% 16.4%
	R & D 事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	5,320 604 (11.4%)	5,755 556 (9.7%)	5,918 665 (11.2%)	162 108 2.8%	2.8% 19.6%	597 61	11.2% 10.1%
	セールス&マーケティング事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	2,897 21 (0.7%)	3,285 △78 -	5,017 243 (4.8%)	1,732 321 52.7%	52.7% -	2,119 221	73.2% 1,029.7%
	計 (参考)	売上高 セグメント利益 (利益率)	59,521 3,690 (6.2%)	69,956 3,914 (5.6%)	74,557 4,878 (6.5%)	4,601 964 6.6%	6.6% 24.6%	15,036 1,188	25.3% 32.2%
不動産ビジネス	不動産事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	29,908 1,418 (4.7%)	18,673 170 (0.9%)	17,068 914 (5.4%)	△1,604 744 △8.6%	△8.6% 437.2%	△12,839 △504	△42.9% △35.5%
情報通信ビジネス	情報通信事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	7,059 284 (4.0%)	6,649 175 (2.6%)	7,296 133 (1.8%)	646 △42 9.7%	9.7% △24.3%	236 △151	3.4% △53.2%
その他	その他事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	2,194 △279 -	3,270 180 (5.5%)	2,611 △105 -	△659 △286 △20.2%	△20.2% -	417 173	19.0% -
合 計		売上高 消去又は全社 営業利益 (利益率)	98,682 △1,829 3,283 (3.3%)	98,549 △1,738 2,702 (2.7%)	101,533 △1,704 4,115 (4.1%)	2,984 33 1,412 52.3%	3.0% - 52.3%	2,851 125 831	2.9% - 25.3%

人材セグメントの売上高・セグメント利益の事業別構成比

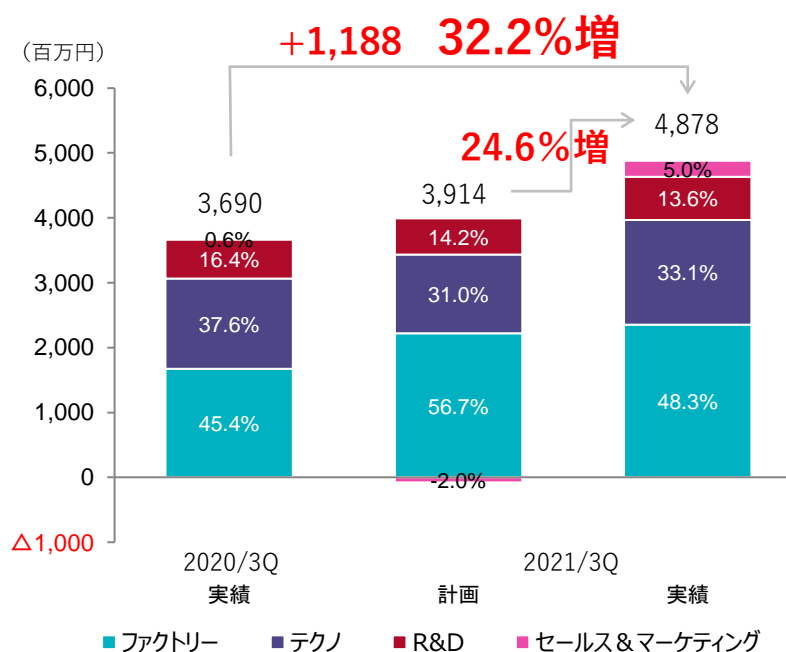


- 主力のファクトリー事業が大幅に伸長し全体を牽引、**前期比で大幅な増収増益を達成**
- 複数領域をカバーする強みを活かしたシームレスな領域間連携によって差異化を図る
- 的確な営業戦略により、コロナ対策特需的要素等も取り込み業績の底上げに寄与

◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益 構成比

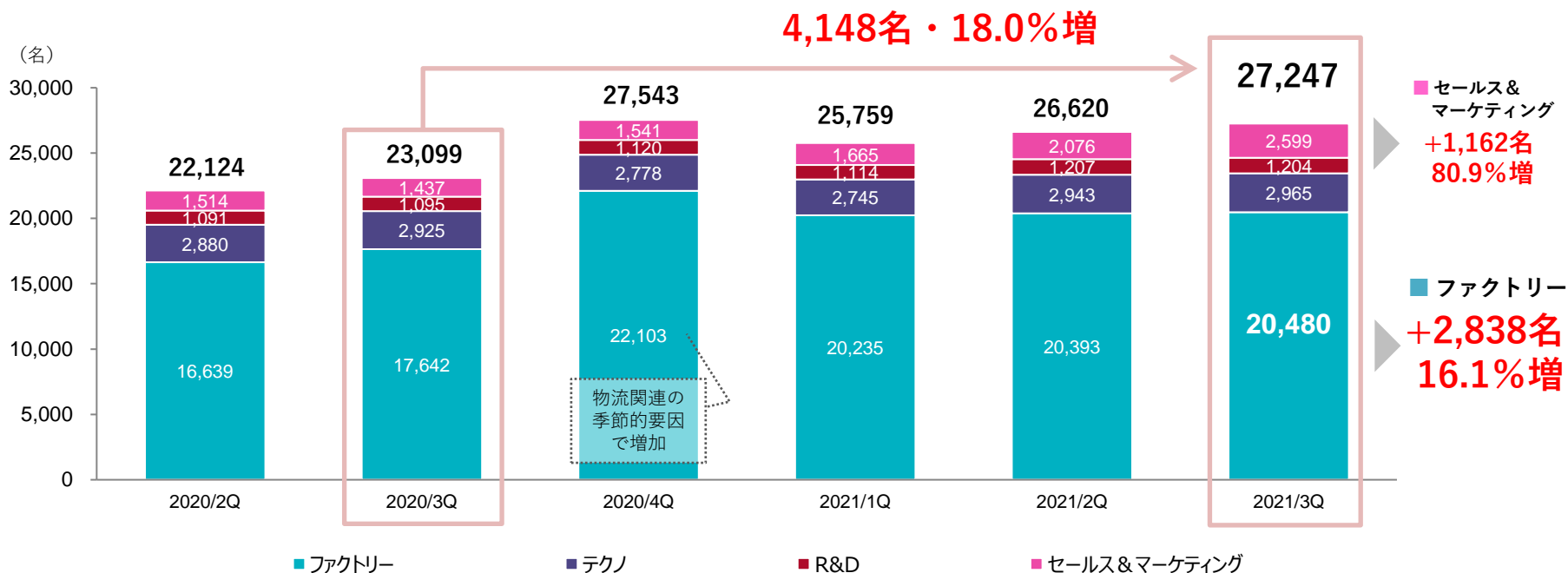


人材セグメント全体の在籍数の推移

主力のファクトリー事業が大幅増員

- 5G関連が好調で半導体・機械分野での在籍数も増加
- 物流分野での新拠点開拓等により在籍数が大幅に増加
- コロナ関連・オリンピック関連の需要によりセールス&マーケティングの在籍数も増加

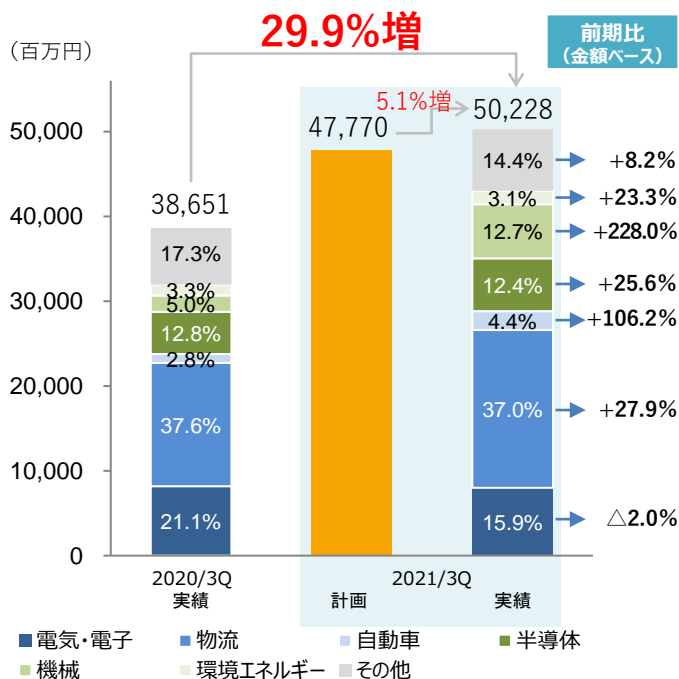
◆在籍数※（3か月平均）の推移



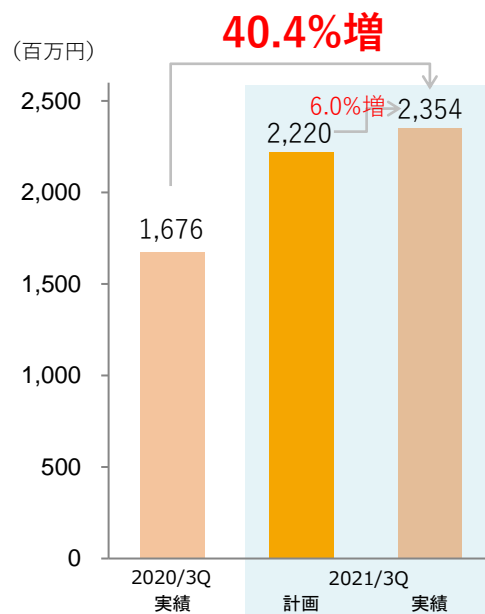
※ ファクトリーの在籍者数については他社受入の外部人員を含む

- 5Gをはじめとした半導体関連等、従前からの戦略的な注力分野への投資が奏功し、好調に推移したことで**大幅な増収増益**
- 半導体関連需要のさらなる増加により、過去最高水準のオーダー数で推移
- 物流の新拠点開設の先行投資
- オーダー増による採用難に対応し、採用強化・投資

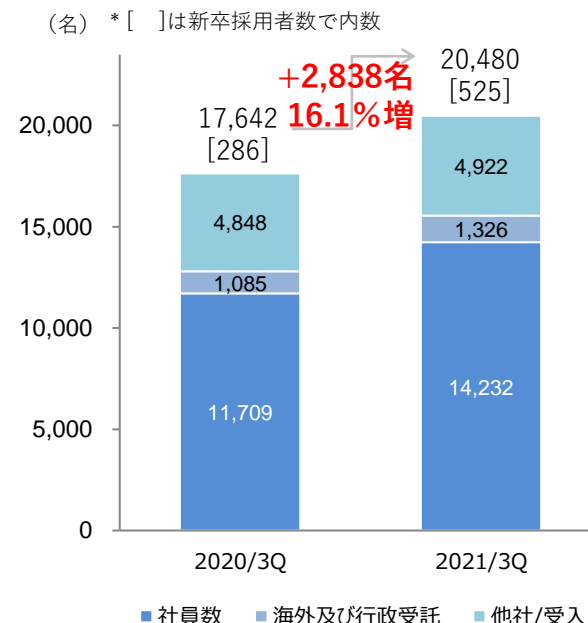
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移 (3か月平均)

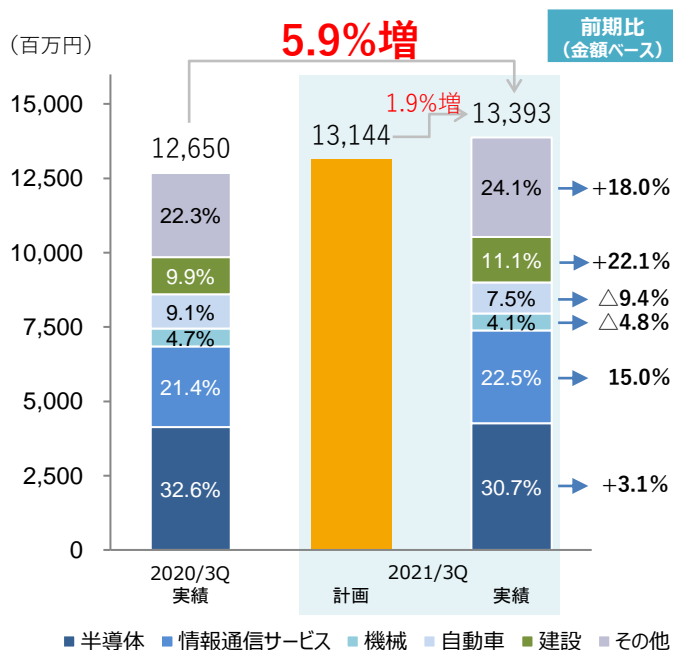


※ 計画は業種ごとに開示しておりません

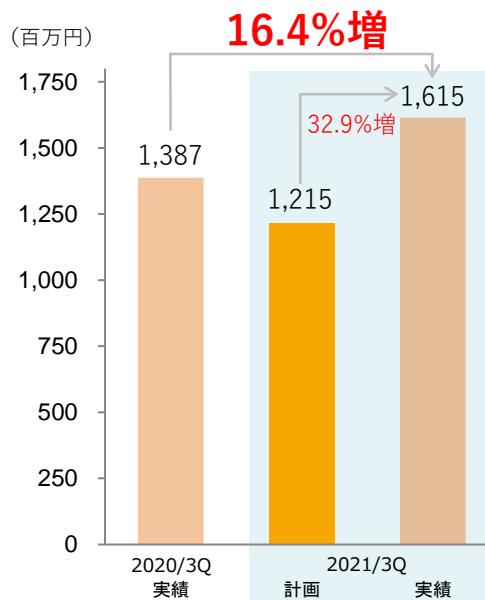
※在籍は3か月平均 他社受入の外部人員を含む
※在籍数は現業社員のみ

- 全分野ともコロナショックからの回復基調にある中、半導体分野でのファクトリー事業とのシームレスな連携に加え、情報通信分野でもグループ間企業連携により成長に繋がった
- エンジニアの人材育成によるスキルアップ及び戦略的な配属によるキャリアアップを図り質の高い技術力の提供を行うことで利益率向上へ

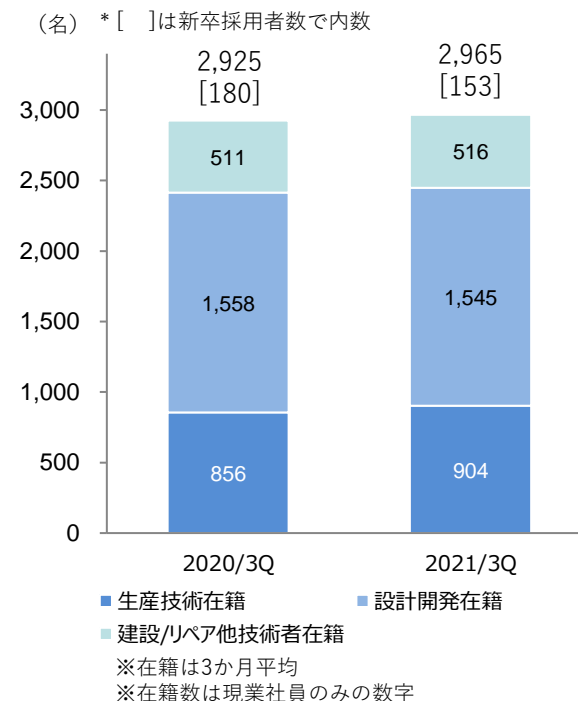
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



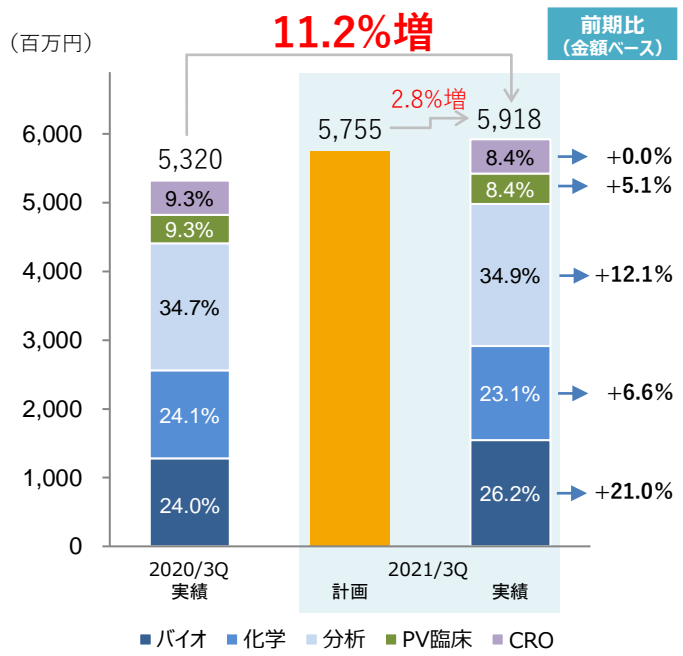
◆ 在籍数の推移 (3か月平均)



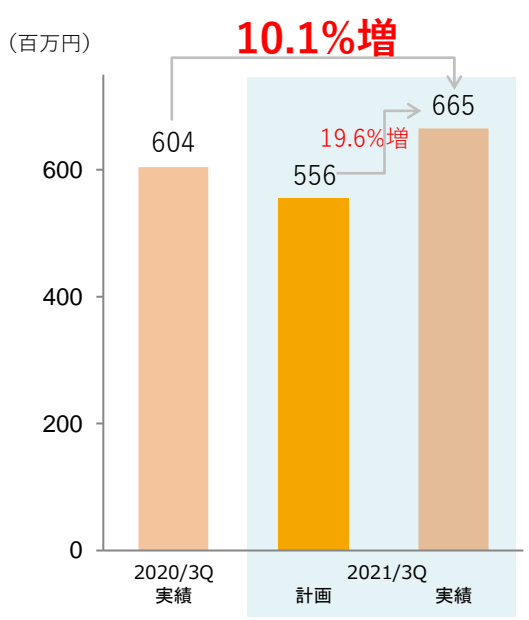
※ 計画は業種ごとに開示しておりません

- 研究者派遣部門は医薬関連のバイオ・化学・分析等各分野とも好調で増収増益
- 戦略的な取引分野の拡大により、過去最高水準のオーダー数で推移
- 増加するオーダーに対応するため採用投資も積極化し、次期でのさらなる拡大を準備

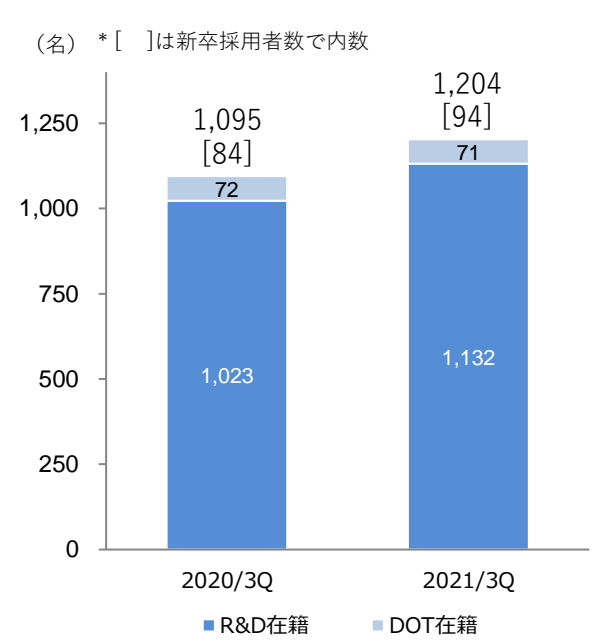
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移 (3か月平均)

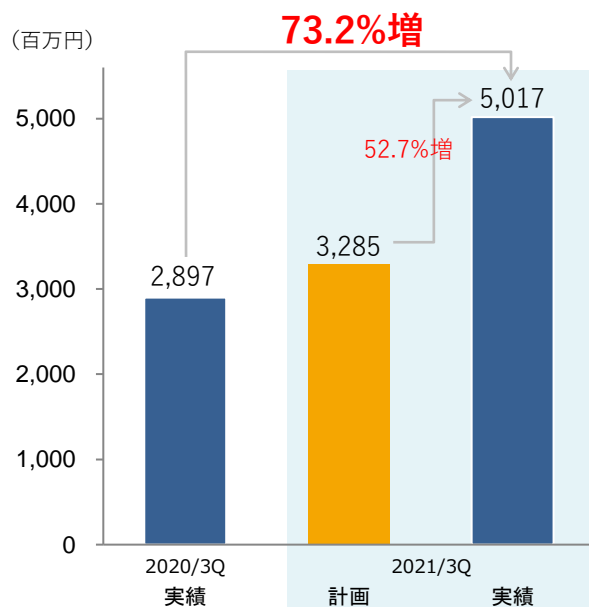


※ 計画は業種ごとに開示しておりません

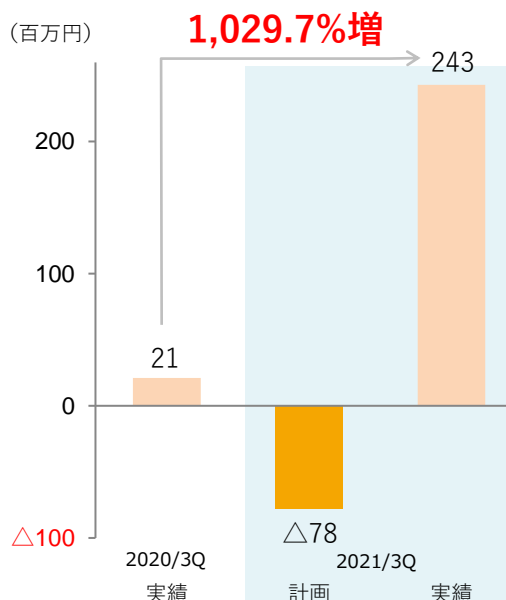
※在籍は3か月平均
※在籍数は現業社員のみの数字

- 既存のコンタクトセンター分野や軽作業分野を確実に伸長させたことに加え、コロナ関連及びオリンピック関連の特需的要素も取込み大幅な増収増益
- 新たにコールセンターの設置や、軽作業関連での請負化推進、店舗の販売代行業務請負化、BPO関連業務の受託を模索するなど、業容拡大を図る

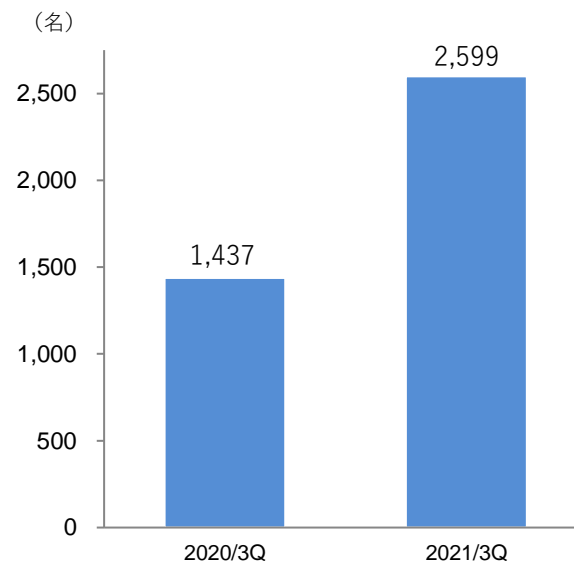
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



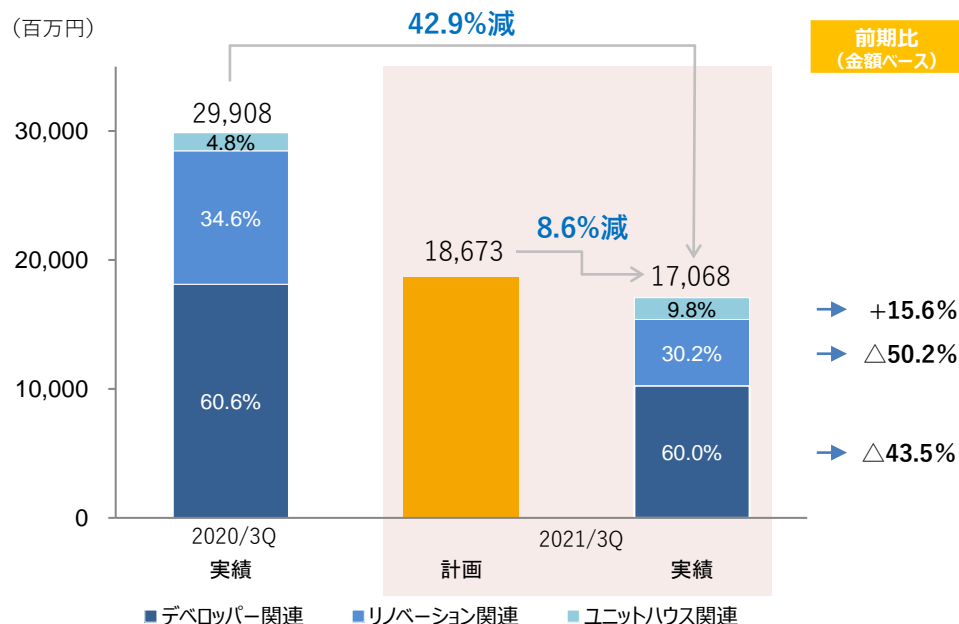
◆ 在籍数の推移 (3か月平均)



※在籍は3か月平均
 ※在籍数は現業社員のみ数字

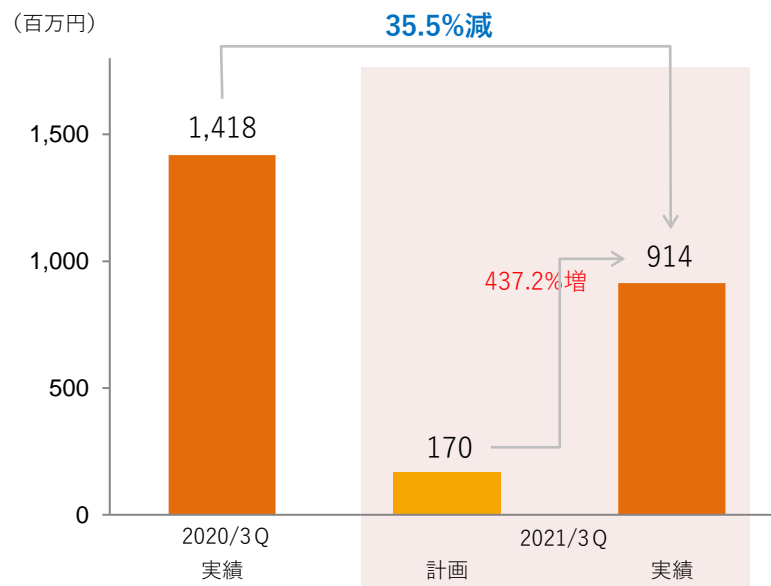
- 第4四半期に予定していた一部物件の前倒し等により、利益面で大幅に計画比上振れ
- 物件価格の高止まり状況が続く中、慎重な事業展開
- 仕入面では引き続き慎重な対応ながらも、得意とする事業用地の開発ノウハウを活かし、着実に優良物件を仕入れ、次期以降に向けた準備を進めた

◆ 売上高 構成比



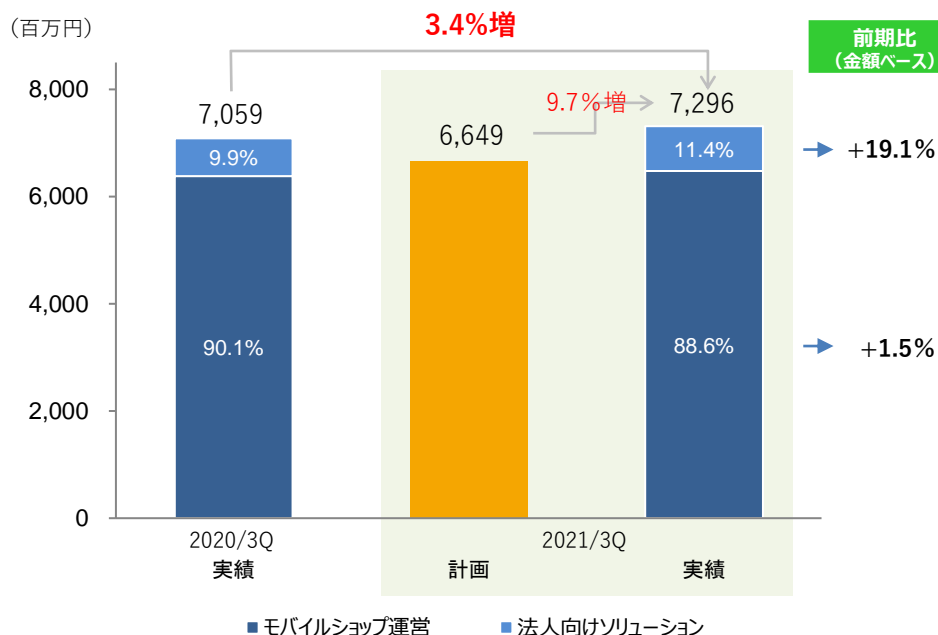
※売上高、およびセグメント利益の計画は業態ごとに開示しておりません

◆ セグメント利益

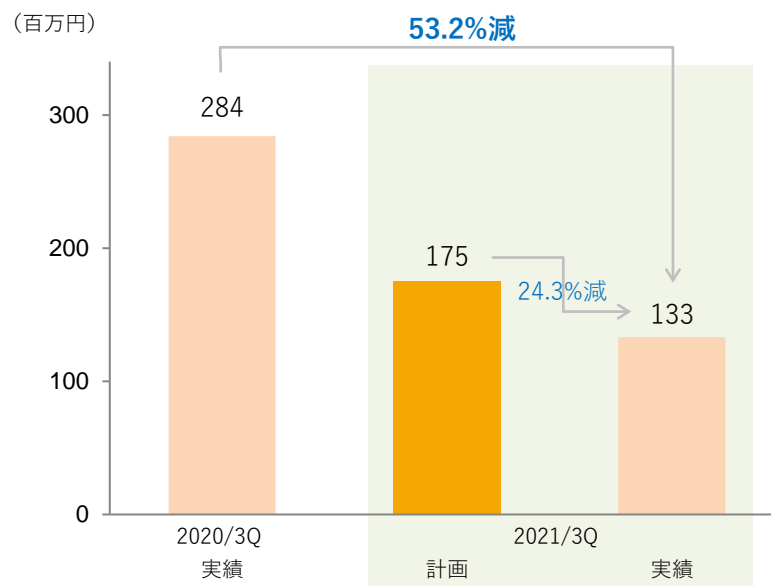


- 各通信事業者のオンライン専用新プラン導入等により、業界が再び大きな変革期を迎える
- 優良店舗網構築のためのスクラップ&ビルドや、販売促進施策の実施、人材育成等に先行投資を行ったため、一時的に大幅な減益
- 引き続きドミナント化を進め、残存者メリット享受に向けた施策を推進

◆ 売上高 構成比



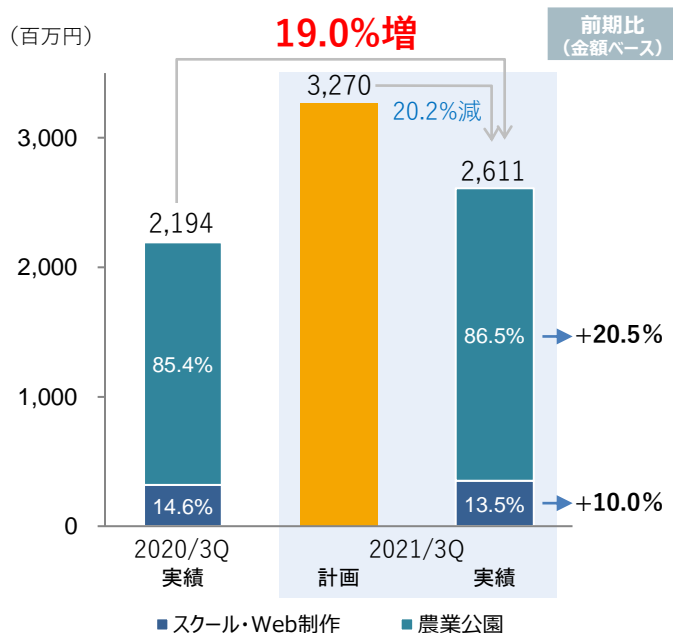
◆ セグメント利益



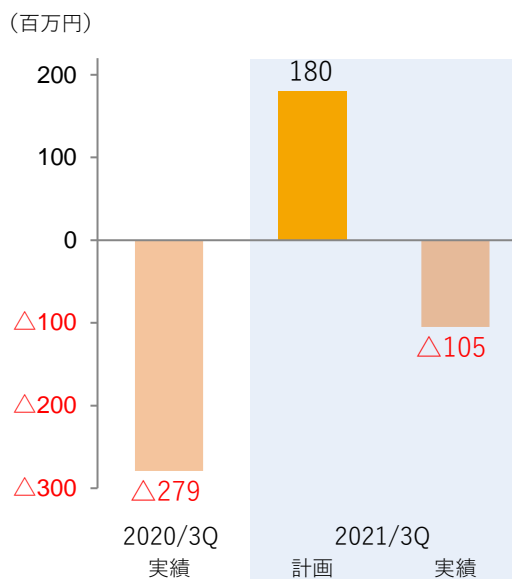
※ 計画は仕向け別に開示していません

- 農業公園運営において、コロナ禍の影響で旗艦施設である大阪府の「堺・緑のミュージアムハーベストの丘」が臨時休園を余儀なくされ大きな痛手
- 本来「密」にならない屋外施設であるという社会的認知と、その強みを活かした適切な誘引施策で地域に必要な憩いの施設としてのプレゼンス向上を図る

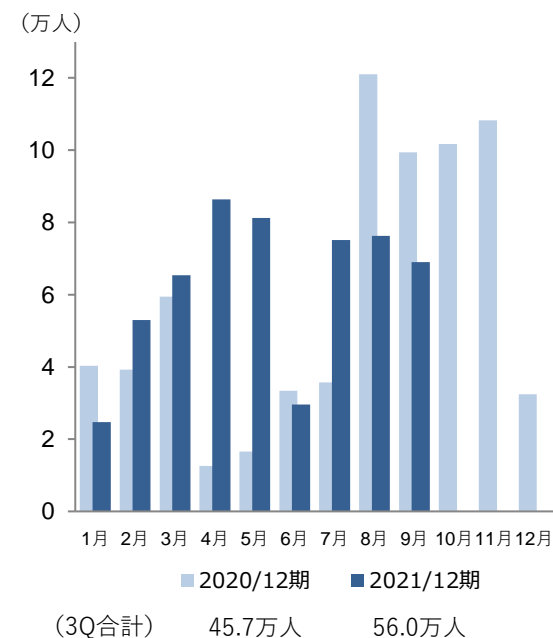
◆売上高 構成比



◆セグメント利益



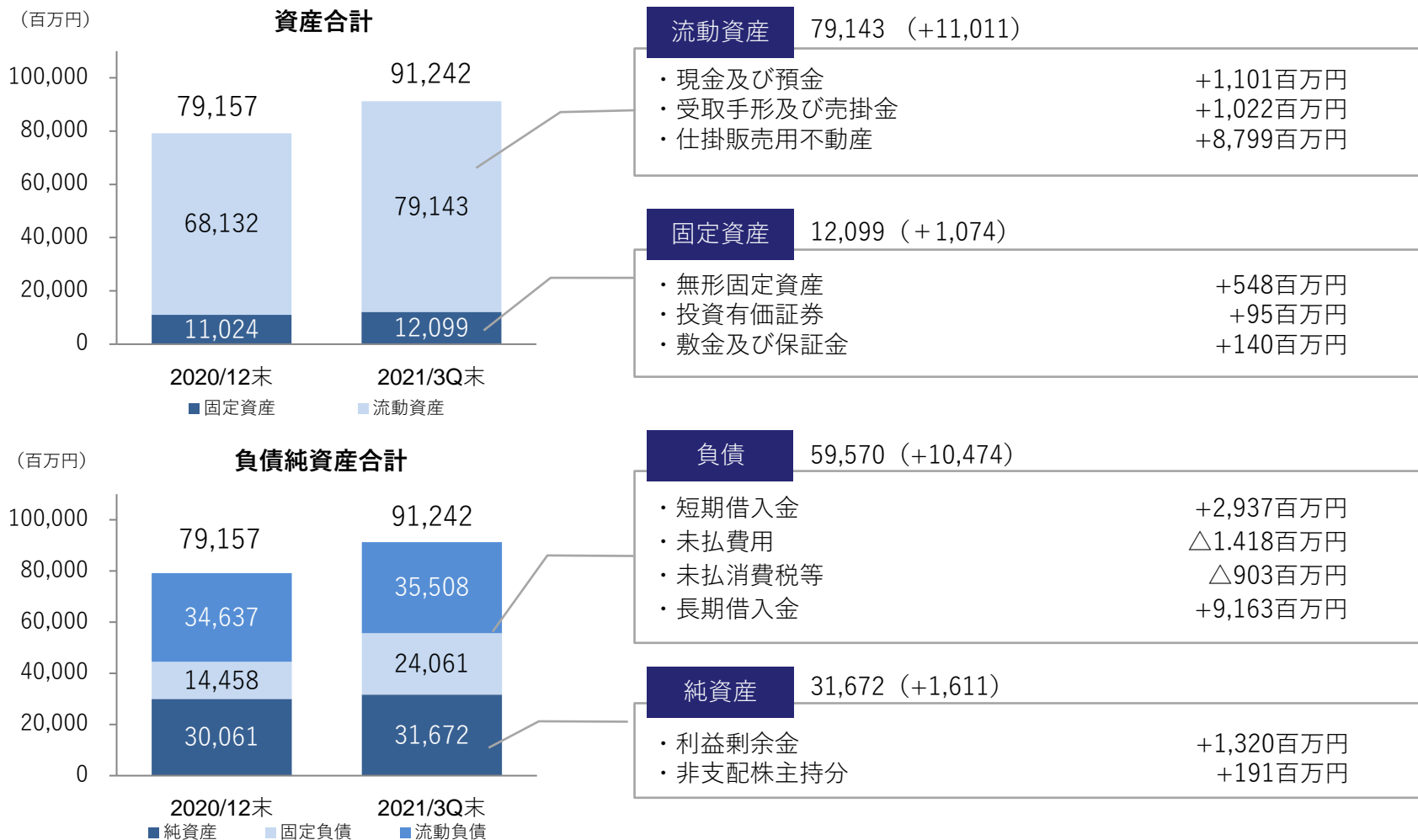
◆月次入園者数



※ 計画は業種ごとに開示しておりません

財政状態 B/S

- 慎重に展開しながらも収益性が見込める不動産物件の仕入れを進めたことで総資産は増加





Ⅱ. 2021年12月期 業績見通し

2021年12月期 通期業績見通し

- 基幹の人材・教育ビジネスの好調を踏まえ通期業績予想を**上方修正**
- 前期の親会社株主に帰属する当期純利益には、子会社の売却や合併に伴い繰延税金資産を見直したことによる影響を含む

単位：百万円、%	2020 通期 実績	2021 通期 期初計画	2021 通期 修正計画	前期比	
				増減額	増減率
売上高	143,571	150,194	151,354	7,782	5.4%
営業利益	6,251	6,465	7,316	1,064	17.0%
経常利益	6,786	6,388	7,547	760	11.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,913	4,573	4,931	△982	△16.6%
一株当たり利益（円）	341.35	262.02	282.44	△58.91	△17.3%
一株当たり配当金（円）	101.7	78.7	84.8	△16.9	△16.6%

セグメント別 通期業績見通し

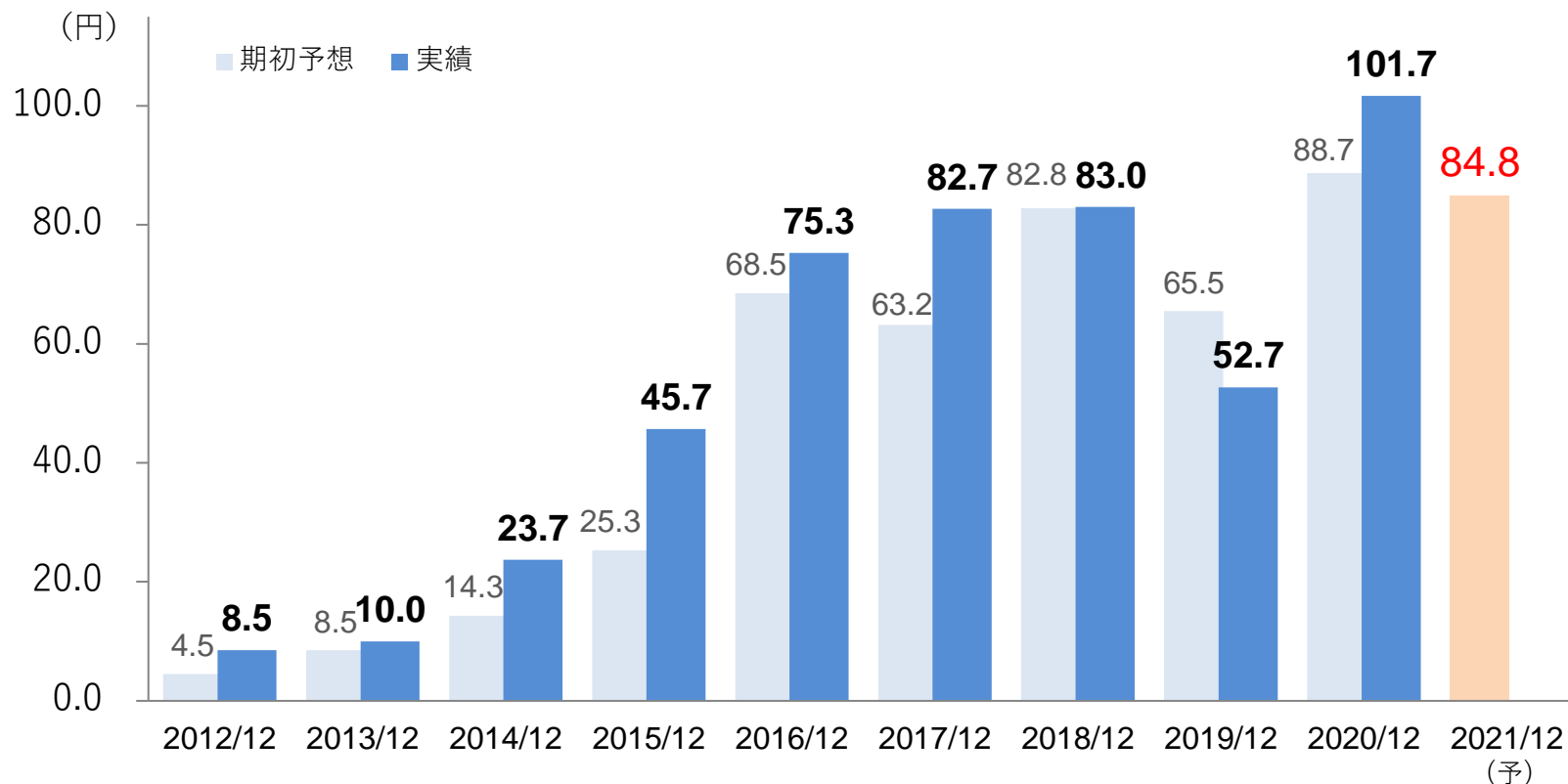
- 基幹の人材・教育ビジネスは、ファクトリー事業が好調なことに加え、セールス&マーケティング事業において従前からの構造改革効果と特需的需要を取り込み上振れ
- 不動産ビジネスは、市況が読みにくい中、緻密なマーケティングにより利益面上振れ

(単位：百万円)			2020通期 実績	(利益率)	2021通期 当初計画	2021通期 修正計画	(利益率)	前期比	
								増減額	増減率
人材・教育ビジネス	ファクトリー事業	売上高	55,102		65,964	68,645		13,543	24.6%
		セグメント利益	2,632	(4.8%)	3,476	3,270	(4.8%)	638	24.2%
	テクノ事業	売上高	17,003		18,135	18,474		1,471	8.7%
		セグメント利益	2,019	(11.9%)	1,908	2,200	(11.9%)	181	9.0%
	R & D事業	売上高	7,200		7,876	8,051		851	11.8%
		セグメント利益	843	(11.7%)	849	934	(11.6%)	91	10.8%
セールス&マーケティング事業	売上高	3,835		4,849	6,769		2,934	76.5%	
	セグメント利益	18	(0.5%)	△23	271	(4.0%)	253	1403.9%	
計 (参考)		売上高	83,142		96,825	101,940		18,798	22.6%
		セグメント利益	5,515	(6.6%)	6,210	6,675	(6.5%)	1,160	21.0%
不動産ビジネス	不動産事業	売上高	48,081		40,363	36,509		△11,572	△24.1%
		セグメント利益	3,550	(7.4%)	2,167	2,915	(8.0%)	△635	△17.9%
情報通信ビジネス	情報通信事業	売上高	9,133		8,769	9,338		205	2.2%
		セグメント利益	240	(2.6%)	190	104	(1.1%)	△136	△56.8%
その他	その他事業	売上高	3,214		4,236	3,567		353	11.0%
		セグメント利益	△200	(—)	170	△112	(—)	88	(—)
合 計		売上高	143,571		150,194	151,354		7,782	5.4%
		消去又は全社 営業利益	△2,854		△2,274	△2,265		(—)	(—)
			6,251	(4.4%)	6,465	7,316	(4.8%)	1,064	17.0%

株主還元

配当性向30%を目安とし、安定的かつ継続的な配当成長を目指す

一株当たり配当金の推移



※業績予想及び配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

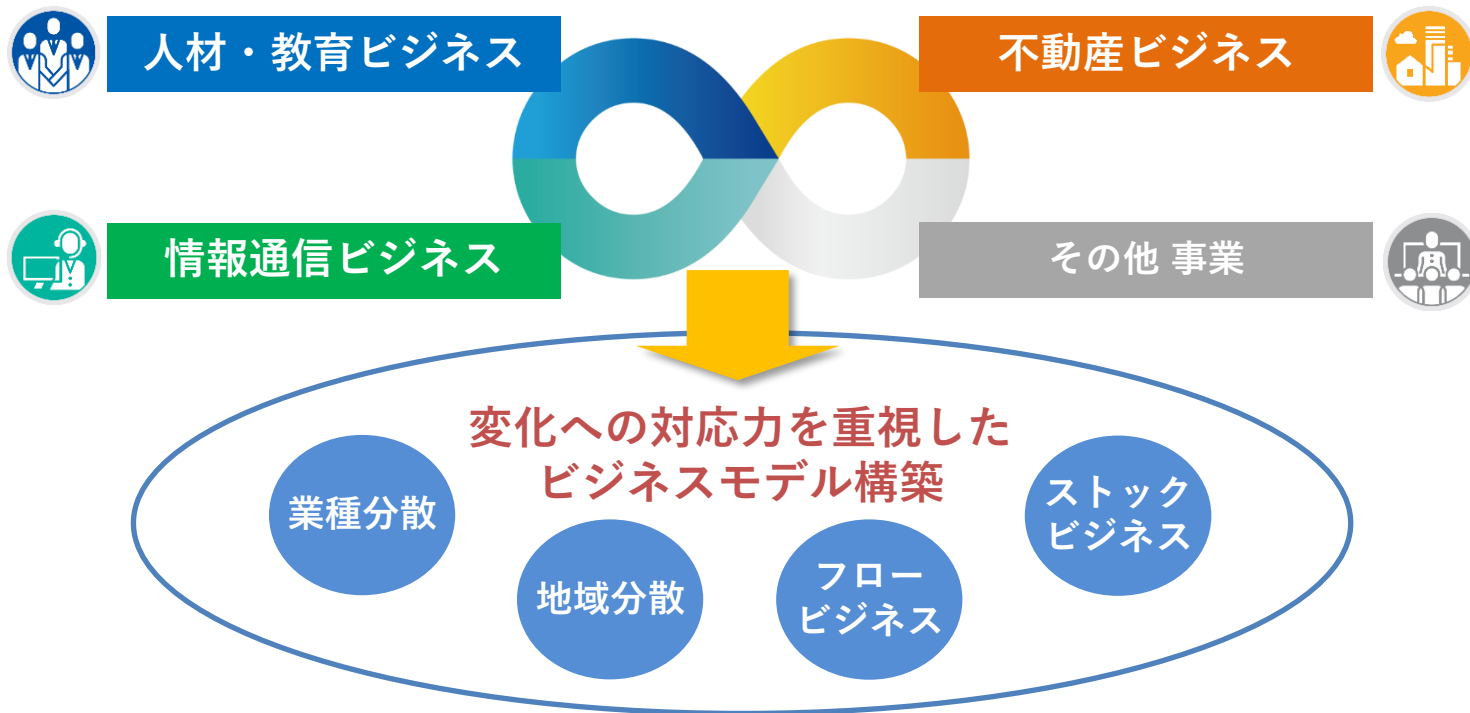


Ⅲ. Appendix

ワールドホールディングス会社案内

成長戦略の全体像

複数事業・複数業種に展開し バランスのとれた安定経営基盤を構築



新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念され 先行き不透明感が強まる中

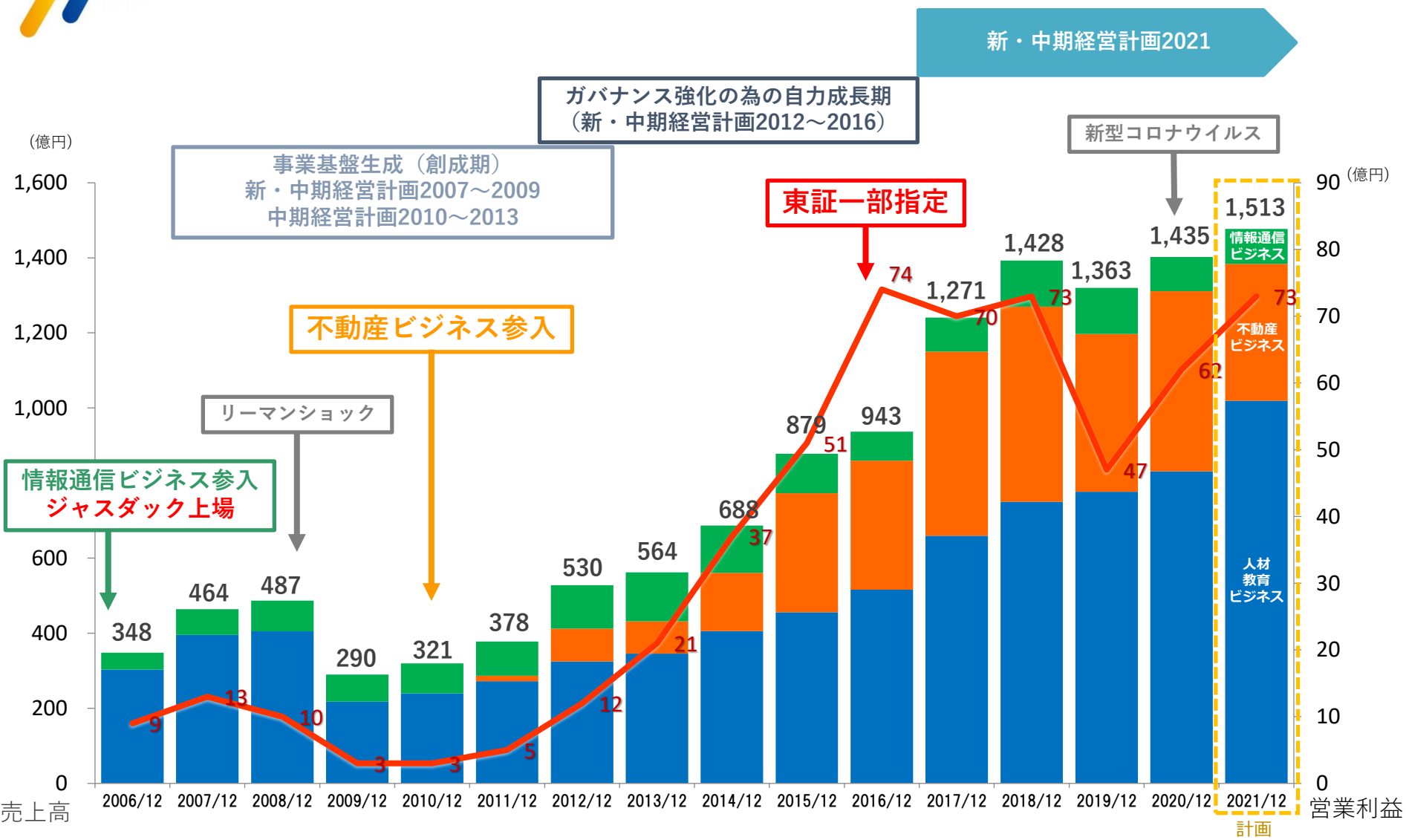
時流の変化を見定め、市場ニーズを的確に捉え成長を図る

これまでは規模拡大のためのM&Aは行わず 新規事業開拓のためのM&Aや企業再生を主に実施

青字：人材・教育ビジネス
 緑字：情報通信ビジネス
 橙字：不動産ビジネス



業績推移



主な関係会社

人材・教育ビジネス

人と仕事をつなぐ
～新しい“働く”カタチ～

-  ワールドインテック
-  ワールドスタッフインヴ
-  ワールドコンストラクション
-  DOT ワールド
-  JW ソリューション
-  TOHO WORLD
-  台湾英特科
-  WORLD INTEC AMERICA
-  EngmaIntec
-  九州地理情報株式会社
-  Camera & Video Repair Service
NIKKIEN
TECHNO CO., LTD.
-  ワールドシステムサービス
-  CreationView Co., Ltd.
-  akrak



情報通信ビジネス

ITで人と人をつなぐ
～新しい“コミュニケーション”のカタチ～

-  E-SUPPORT
-  NETWORK SOLUTIONS
-  ベストITビジネス

その他 事業

-  株式会社 クラウドイット
-  Advan
株式会社アドバン




主な関係会社：38社
＜連結子会社34社・非連結子会社4社＞

不動産ビジネス

人と住まいをつなぐ
～新しい“まちづくり”のカタチ～

-  ワールドレジデンシャル
-  ワールドアイシティ
-  ワールドウイステリアホームズ
-  ニチモリアルエステート
-  コソパックス
-  WORLD DEVELOPMENT INDONESIA
-  MIKUNI
-  ワールドミクニ
-  エムズワールド
-  オオマチワールド

金融関連

-  ワールドアセットマネジメント
-  ワールドキャピタルソリューション
-  みらい債権回収

161拠点

- 国内 146拠点
- 海外 15拠点（中国、台湾、インドネシア、フランス、アメリカ）



ものづくりを中心とした幅広い領域をシームレスにカバーした請負・派遣



医薬・バイオ

研究・開発

R&D

機械・システム

設計・開発

テクノ

半導体・製造装置

製造

ファクトリー

ロジスティクス

物流

ファクトリー

リペア

アフター

サービス

テクノ

販売・軽作業等

サービス

セールス&マーケティング

顧客にとっては
あらゆる分野の業務も
1社で対応できる
ニーズ対応力

Value

働く側にとっては
入社の間口が広い、スキルアップ、
キャリアアップの方向性が豊富
広がる可能性

R&D事業

医薬/バイオ/化学/CRO
研究員

約1,200名

テクノ事業

機械設計 / システム開発
エンジニア

約2,900名

ファクトリー事業

製造 / 物流
オペレーター

約20,500名

セールス&
マーケティング事業

販売員 / 軽作業員
コールセンター等

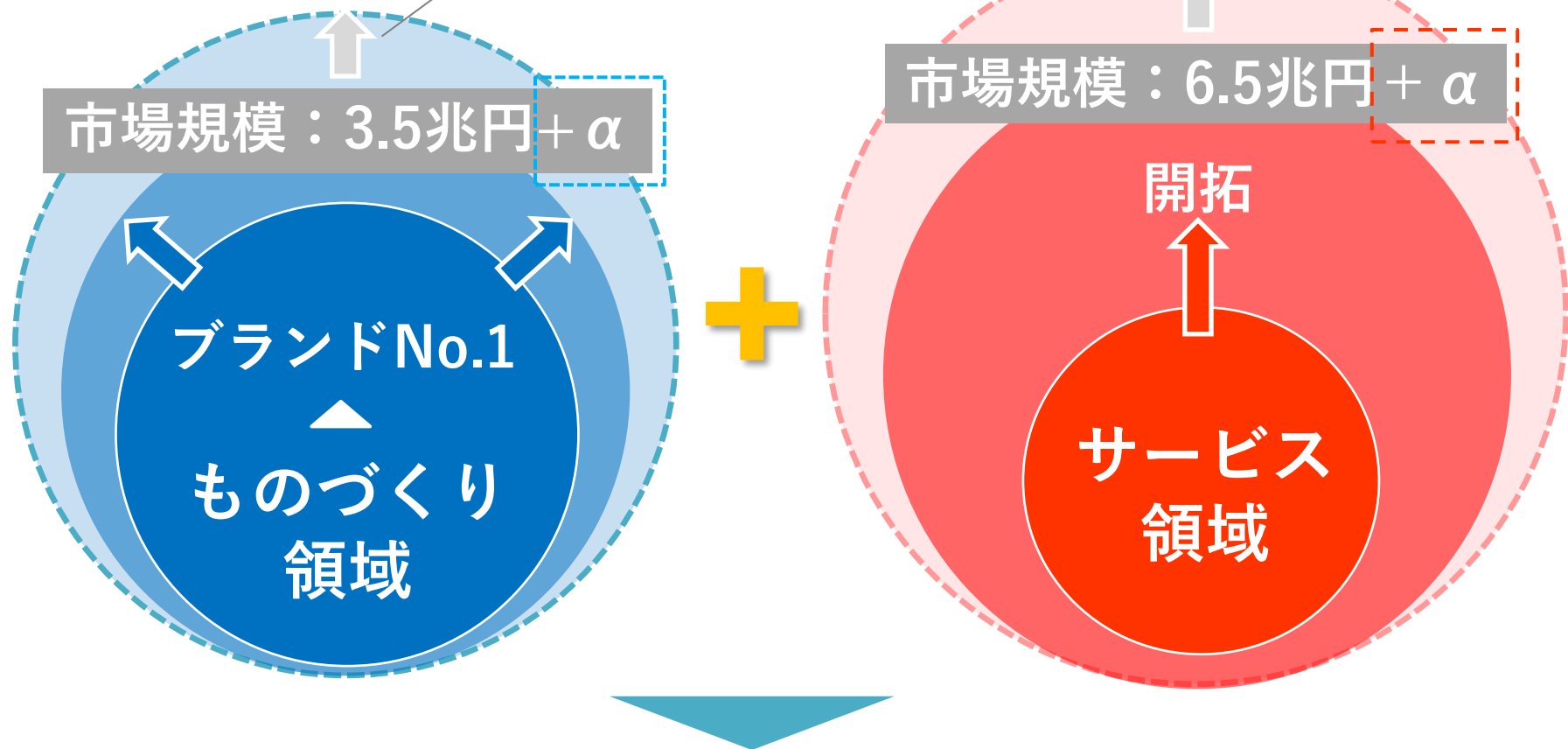
約2,600名

約**27,200**名の稼働人数

※2020年12月末時点

コロナ禍を背景にアウト
ソーシング市場拡大

未知なるマーケット
の創造



ものづくり領域でブランドNo.1へ & サービス領域での事業開拓

現物不動産

デベロップメント

マンション・戸建
事業用地開発

東北圏・首都圏・近畿圏・九州圏で
主要都市に特化し事業展開



レジデンシャル上板橋パークゲート
《東京都》

不動産再生

リノベーション
再開発

全国でリノベーション等の
不動産再生関連事業を展開

Before



After



流通 仲介

プロパティ
マネジメント

不動産 金融

債権回収
アセット
マネジメント



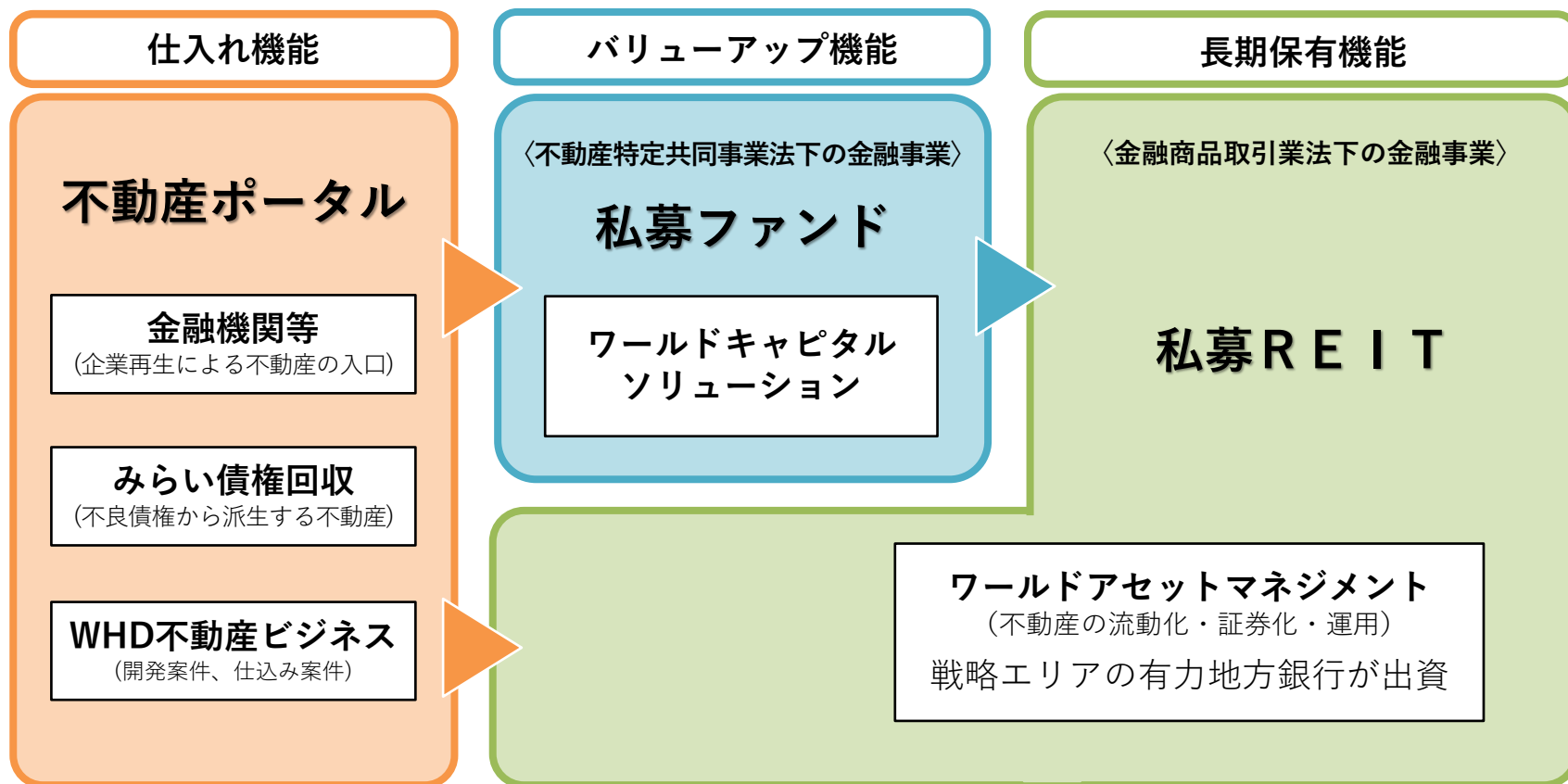
フロービジネス

ストックビジネス

フロービジネスとストックビジネスの融合、ビジネスサイクルの違う領域の融合により安定化

現物不動産の分野では適正規模にて拡大、不動産金融で成長を図る

現物不動産と不動産金融の両面からの機能を有することで
収益物件のオフバランス化（ストックビジネス化）を図り
さらなる安定経営体制を構築



モバイルショップ

九州地域最大級の店舗網

携帯電話ショップを、福岡県、佐賀県、大分県、熊本県、長崎県、沖縄県にて展開

- ・ Softbank ショップ
- ・ au ショップ
- ・ Y!モバイル ショップ

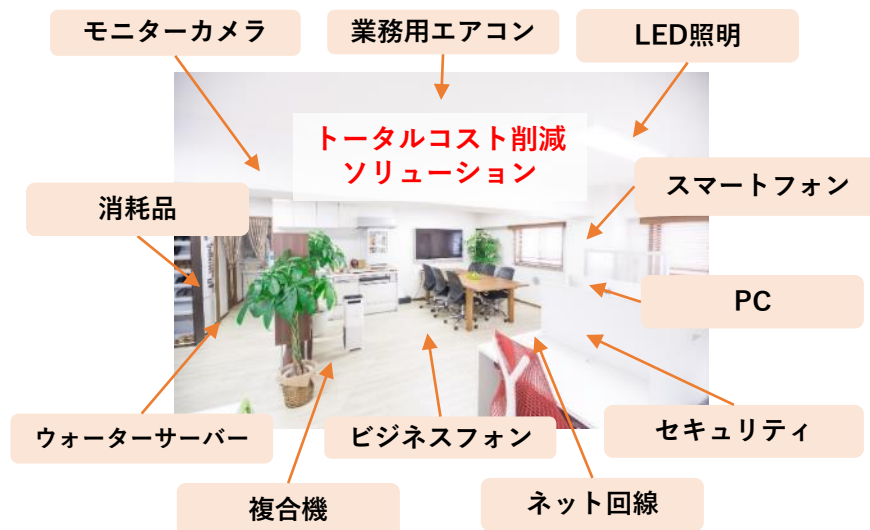
35店舗

2021年9月現在



法人ソリューション

企業向けに、各種商材の販売を通して、電力、通信費等のコスト削減提案を実施



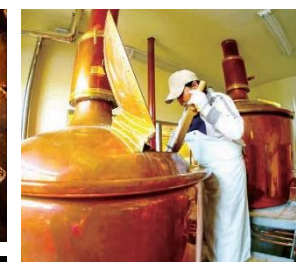
コールセンター

個人・法人向けに様々な商材を販売



全国 13か所で自然あふれる農業公園等を展開

直営施設4か所と指定管理・業務受託等 計13か所の運営



自家製のソーセージ菓子、ビールなどの製造・販売も行う

グループシナジー

雇用創出・地方創生

地域に根差した幅広い雇用創出と地域活性化による地方創生

人が生きるカタチ



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

株式会社ワールドホールディングス

広報IR室 西原 範朗

TEL 03-3433-6005

E-MAIL irinfo@world-hd.co.jp

URL <https://www.world-hd.co.jp/>